

2019.8.3. (土) ~8.4. (日)

東エコクラブ「南アルプスチロル学園親子宿泊自然観察会」(その1)

東エコクラブ恒例になりつつある、チロル学園親子宿泊自然観察会も、今年で4回目を迎えました。今回は希望者多数により、大抽選会を経ての企画となりました。残念ながら抽選に外れてしまったお友達の方も楽しみましょう！と声をかけ、参加9家族で初日がスタートしました。

まずは河口湖フィールドセンターでの自然体験の様子です。着いていきなりの活動ですが、行程の都合上、まずはクラフト制作でお土産作りにチャレンジしました。紫外線をあてると固まる樹脂と、富士山界隈で採取される押し花を使ったペーパーウエイトです。皆、とても上手に出来ました。





そして、一番楽しみにしていたネイチャーガイドウォークの始まりです。ここ河口湖フィールドセンターには世界的にも大変貴重な溶岩樹型洞穴郡が約200個もあります。1000年前の富士山の噴火の際、その溶岩が流れる途中で樹木の幹を取り込み固まってできた空洞ですが、溶岩の量が多くて少なくともこのような形には残らないそうで、地質学上も大変貴重なものだそうです。



あまり写真には収めていませんが、お父さんお母さんも一緒に洞窟探検をしました。子ども達と違って大人は背が高く身体も硬くなってきていますので本当に苦労していましたが、童心に戻って子ども達と一緒に楽しんでいました。



河口湖フィールドセンターには本当にたくさんの不思議発見がありました。また、この日も大変な猛暑日でしたが、ここは富士山の麓ということで標高もあるため、とても過ごしやすい季候でした。



チロル学園に着いてからお風呂に入り、そのあと、近くの畑でミントの葉っぱを摘みました。よく揉んで身体に付けると虫除けにもなるそうです。



チロル学園スタッフのご挨拶をいただいたあと、地元の食材を使った美味しい夕食をいただきました。



夕食後、少し団欒をし、



今回は理科の先生も引率してくれましたので、星空観察の事前勉強と実際会もしました。



そして、大花火大会の開幕です。たくさんの手持ち花火を用意しましたが、一番人気はやはり、線香花火でした。



甘いスイカの差し入れをいただきました。美味しくいただきました。

